

まちかど未来塾 だより



10月(October)

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
第1週						
	8	9	10	11	12	13
第2週	体育の日		保育コーディネーター研修	親カフェ・ふらっと		ペアレントプログラム連続講座③
	15	16	17	18	19	20
第3週					メンター-MTG 10:30~	
	22	23	24	25	26	27
第4週				中央公民館 家庭支援講座		ペアレントプログラム連続講座④
	29	30	31			
第5週						

*お月謝の引き落としは15日(月)です

*維持費¥2000が加算されています(家庭数)

25日(木) 中央公民館10:00~12:00

家庭支援講座「みんなと違っていて、どうということ？」の講座を開きます！By芋生



Mirai Letter 68



将来に投資するもの

本庶佑先生 京都大学名誉教授 医学/生理学賞 受賞 ガン治療の薬「オプシーボ」を世に出す

「研究や教育は未来に投資するもの」日本は第3位の経済大国であるにも関わらず、その中であって研究費や教育費への投資は低い、、、

本庶先生が基礎研究を始めた頃は「お金もない」「材料もない」「試薬もない」と無いものだらけのその中で、「知恵はあった」と、先生はアメリカへ留学、そのアメリカ留学中に申請した研究費が帰国後におりにことに、、(アメリカは凄い！本人が帰国した後も研究費はおりる、その研究内容に予算を付ける、将来を確かなものにするために！)

「野口英雄」を尊敬し、一人でも多くの人の役に立つ研究に没頭する、家庭の主たることは妻に任せ、ひたすら「亭主関白」の道を進む。

「誰も見向きもしない湧水を見つけ、その流れを小川から大河に育てる」と、その信念のもと、先王の研究員の一人がその実験費が高く、なかなか手を付けられない研究があったときに「バカ野郎！ お金はどうでもよい、君が1億必要ならそれを準備する、1億ですむなら家を買ってもお金を作る、だからお金が無いから実験できない、と言うな！」~この研究こそが必ず人の役に立つ！という信念が免疫力を上げるがん治療の薬の開発に繋がり、ガン患者には生きる勇気や希望を持つことが、

私の長男の親友、36歳で胃がんが見つかったのはこの8月、とても暑い日でした。彼には就学前のお子さんが2人、~うちの長男にとって大切な人は私たちにとっても大切な人！どうあっても治って頂かないと困る！知り合いの医師に相談したり、ガン治療に関する情報を集めたり、、、そんな時に「オプシーボ」が舞い込んで来ました！~これは治ったも同然！と光が差し、このニュースだけでも免疫力がグ〜ンと上がる、アメリカからの研究費も含め将来への投資が形になった瞬間、ガンはそう遠くない将来、治らない病ではなくなる！日本も国を挙げて「研究や教育は未来に投資するもの」と基礎研究や教育にどんどん投資をしてくれる時代が来て欲しいのですが、、、(T.lmou)